



“Yuuai Medical Center” 友愛医療センター 地域連携室だより



〒901-0224 豊見城市字与根50番地5
電話 (代表) 098-850-3811
(連携直通) 098-852-2575
FAX (連携直通) 098-852-2152

「糖尿病・内分泌内科」へご紹介について



「糖尿病・内分泌内科」は豊見城中央病院（豊見城市字上田）にて、「生活習慣病センター」として診療を強化しております。ご紹介（受診相談・予約調整）などに関しましては、豊見城中央病院 地域連携室（直通TEL：098-851-3605）へお問い合わせをお願い致します。*当院にて併診が必要な方などは、当院にて診療を行うケースもあり、豊見城中央病院 連携室と連携を取りながら調整致します。



～豊見城中央病院について～
豊見城中央病院は一部診療科を除き、紹介状（診療情報提供書）がなくても診察対応可能となっておりますので、どうぞお気軽にご相談ください。また、一般急性期（肺炎や尿路感染症など）・回復期・地域包括ケア病棟での入院治療・緩和ケア医療を担っております。

沖縄県初！低侵襲心臓血管外科不整脈手術治療 「ウルフ-オオツカ法」 始動

「ウルフ-オオツカ法」とは、日本の大塚俊哉先生とアメリカのランドール・ウルフ先生が考案した心房細動に対する外科的な治療法で、心房細動という不整脈に対して内視鏡を用いた低侵襲心臓手術治療です。心原性梗塞症の原因となる左心耳の切除と同時に不整脈治療の外科的アブレーションを行います。

大塚 俊哉 医師
ニューハート・ワタナベ国際病院
副院長 兼
ウルフ-オオツカ
低侵襲心房細動手術
センターセンター長



術後は、脳梗塞を含めた心原性塞栓症のリスクが下がり、そのため致命的な出血のリスクとなる抗凝固薬を中止することが可能となります。また、内視鏡を用いて行うため、手術による体への負担は非常に少なく済みます。

当院 心臓血管外科では、上記のような素晴らしい心房細動治療を沖縄の患者様に高いレベルでお届けする為に、考案者である大塚俊哉先生を顧問としてお招きし、定期的に指導を受けております。



友愛医療センター
心臓血管外科
樋山 耕平 医長

実際にウルフ-オオツカ法手術を受けて
自分も長い間心房細動を患っていましたが、特に症状も無かったため抗凝固薬（血液をサラサラにする薬）の内服を続け経過観察していました。ところが1年程心房細動が続いた時の検診にて心機能の低下、新規弁膜症（また違う心臓の病気）の出現がありました。その間にも抗凝固薬による出血で困った事もあり、この手術を大塚先生にお願いした経緯があります。5日間程度の入院で、現在は心房細動も治り、内服も全て中止となりました。この手術をしていなければ、おそらく数年で人工心肺を使用するような心臓の大手術、致命的な脳梗塞、消化管出血等になっていたと思います。ウルフ-オオツカ法は予防的な手術ではありますが、間違いなく「寿命が伸びる手術」であると実感しております。



地域連携室の
つぶやき

ウルフ-オオツカ法に関しては当院 ホームページ（心臓血管外科）に、より詳しく掲載されておりますので、ご参照下さい(∩o∩)
当治療を選択する・しないに関わらず、「ウルフ-オオツカ法について話を聞いてみたい」という患者様・ご家族様がいらっしゃいましたら、お気軽に地域連携室へご相談ください。
地域連携室 比嘉